

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和02年01月08日

計画の名称	輝きを放ち、成長・安心を実感できる石川の道路整備（重点）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	石川県, 小松市												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や生産活動における拠点間の円滑な移動・物流の実現により、利用者の道路に対する満足度が向上する道路整備を進める。 石川県を訪れる観光客が魅力ある観光地を周遊し、通年で新幹線開業効果を県下全域に波及できるよう、雪に強く安定した交通（人流・物流）を可能とする道路整備を進める。 												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,606	A	3,606	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30末		R6末
1	・道路利用者満足度調査（いしかわ道の通信簿）における満足度指数を平成30年度の7割から令和6年度末（2024末）までに8割に向上させる。 満足度指数（「満足」「やや満足」と回答した割合） 「満足」「やや満足」の回答数 / 全回答数（「満足」「やや満足」「ふつう」「やや不満」「不満」）	7割	割	8割
2	・主要観光施設利用者数の増加率を平成30年度と比較し、令和6年度末（2024末）までに17%以上に増加させる。 主要観光施設利用者数の増加率 主要観光施設利用者数（評価時） / 主要観光施設利用者数（計画時） × 100	100%	%	117%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	○
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																					
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												R02	R03	R04	R05	R06					
		一体的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	石川県	直接	石川県	都道府 県道	改築	(主) 福浦港中島線 中 島町土川	現道拡幅 L=0.7km	七尾市	■	■	■			300		—		
	A01-002	道路	一般	石川県	直接	石川県	都道府 県道	改築	(一) 荒木田原町線 熊 坂～曾宇	バイパス L=0.24km	加賀市	■	■	■			2,185		—		
	A01-003	道路	一般	小松市	直接	小松市	市町村 道	改築	(市) 幸町八幡線 吉竹 町～八幡	現道拡幅 L=1.25km	小松市	■	■	■			1,121		—		
												小計						3,606			
												合計							3,606		

事前評価チェックシート

計画の名称： 輝きを放ち、成長・安心を実感できる石川の道路整備（重点）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
I. 目標の妥当性 ②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性 1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性 2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○